鹿沼市　地域学校協働活動＆コミュニティ・スクールだより　令和４年度総集編

令和５年３月発行

ichigo 一笑（いちご いちえ）

鹿沼市では、昨今の激しい社会環境の変化の中、未来を担う子供たちを地域全体で育てていこうとする目的で**「コミュニティ・スクール」**と**「地域学校協働活動」**の推進に取り組んでいます。従来の地域と学校の連携体制を基盤として、より一層地域と学校が**連携・協働**して子供たちのための地域づくりをしていこうとするものです。総集編「ichigo 一笑（いちえ）」を発行いたします。

「コミュニティ・スクール」おさらいコーナー

「コミュニティ・スクール」って何だっけ？

コミュニティ ＝ **地域**　**スクール** ＝ **学校**

地域と学校が手を取り合って子供たちを育てていこうという制度

みんなが幸せになるために

「地域創生」とかとも言ってるけど、結局みんなに幸せになってもらいたいんだね。

1 地域　地域は、地域学校協働活動で

例えば・・・

他には
- 見守りボランティア
- 草刈ボランティア
- ふるさと学習の講師
- イベントへの参画

・・・等々

そのために

2 学校　学校は、学校運営協議会で

学校評議員制度
評議員が個別に校長に意見を述べる仕組

学校運営協議会制度
学校運営について校長を含めた委員の合議制による協議
↓
制度のメンテナンスにより仕組みが変わった

※学校評議員制度から学校運営協議会制度へ制度が変わりました。

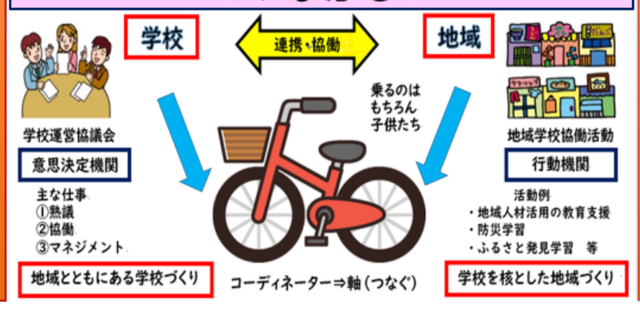
〈役割〉
①校長が作成する学校運営の基本方針の承認をする
②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる

〈内容〉
①導入後、２～３年は情報交換（学校と地域）
②コミスクについての研修
③地域の子供たちをどう育てるかのビジョン共有
④どんな地域にしたいかのビジョン共有
⑤子供たちを育てるために学校と地域でできることの話し合い　等など

そのために

これまでとの違いは・・連携・協働〈つながる〉

子供たちのために話し合ったことを



地域でできることは、やっていこう

キーワードは「つながる」です。

新しいことをやるのではなく、これまで行ってきたことをブラッシュアップするといいそうです。

最後に・・・

「社会教育士」って何だろう？

地域社会の諸課題に向けて、地域に暮らす皆さんを支援する人たちです。

これは、令和４年度に社会教育士の講習を受けた鹿沼市の方が書いたレポートの一部です。素晴らしかったので、紹介します。

社会教育士と社会教育主事の違い

社会教育士は、2020（令和２）年度からスタートした制度で、規定の科目を学修して専門性を身につけた地域のコーディネーターです。もともとは「社会教育主事」の制度があり、この社会教育主事になるために修得すべき科目などを定めた社会教育主事講習等規程が一部改正されたことにより、新設されました。

社会教育士は文部科学省が認定する「称号」です。教育委員会の発令を受けていなくとも社会教育士を名乗ることができますが、国家資格ではありません。一方の社会教育主事は、教育委員会から「社会教育主事」と発令されなければ、職務に就くことはできません。

なお、社会教育主事がなくなるわけではありません。引き続き、教育的専門職として教育委員会に設置されます。今後は、社会教育士と社会教育主事が連携しながら、地域全体の社会教育の振興に取り組むことが肝要です。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について学んだこと

コミュニティ・スクールを負担に感じる人が多いが、持続可能な鹿沼市にしていくために重要な制度であると学んだ。コミュニティ・スクールは、地域住民が地域の子供たちを地域全体で育てようとする意識を育む場所であり、地域の大人同士がつながる場でもある。

鹿沼市には子供たちを想う大人がたくさんいるが、その気持ちを発信することは少ない。発信する場もない。それゆえ同じ想いを抱いていても、共感し仲を深めることはない。学校運営協議会では、学校の先生を含む地域の人たちが自分たちの気持ちや活動を話し合い、多様な人々がつながっていく場が用意されている。そんな夢のような場は唯一無二ではないか。

コロナウィルスによって様々な地域行事、各種会議が中止になり、人々が集まることの必要性・緊急性を見直すことが求められた。そんな状況で引き離されてしまった人たちを、新たな人も交えてもう一度つながってみるチャンスに、コミュニティ・スクールがうまく活用できるのではないか。地域の人たちが地域にある学校に集まって、地域のためにわいわいと世間話や夢を語り合うことができたら、子供はもちろんその親も子育ての仲間がいる心強さを実感でき、その地域全体が幸せで溢れるのでは、と私は思う。

しかし、全員が同じ考えではない。だからこそ、正解がひとつではないコミュニティ・スクールの、その地域なりの正解を地域総出で探していくことで、徐々にコミュニティ・スクールが育っていくと学んだ。

こんな方に社会教育士になることをおすすめします

行政職員
どの部署の職員にとっても必要な地域のニーズに寄り添い、地域住民と協働していくための専門的スキルが身につきます。
つまり、全ての行政職員におすすめです！

NPOに所属する人
地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。

企業
企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。

学校の教職員
子供の主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。

「Ichigo・一笑」のご愛読ありがとうございました。いよいよ来年度から、鹿沼市全小中学校で「コミュニティ・スクール」が導入されます。
子供たちをはじめ、地域の皆様と学校が幸せになるように、今後も生涯学習課と学校教育課は、皆様と伴走してまいります。今後も「連携・協働」よろしくお願いします。

掲載資料は、文科省ＨＰからの抜粋です。

発行：鹿沼市教育委員会事務局　生涯学習課生涯学習係　☎63-3498
学校教育課指導係　☎63-2236

鹿沼市HP「コミュニティ・スクール」

地域学校協働活動＆コミュニティ・スクール研修会を開催しました！

第１回：４月 27 日@市民情報センター
第２回：７月 19 日@市民情報センター
第３回：９月 ６日@市民情報センター
（サテライト会場）
第４回：10 月 18 日@南摩地区公民館
第５回：２月 ３日@菊沢地区公民館

◀一般社団法人とちぎ市民協働研究会
廣瀬 隆人代表理事

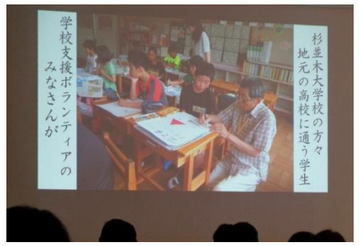
◀一本杉農園　　福田 大樹氏

作新学院大学▶
高浜 浩二教授

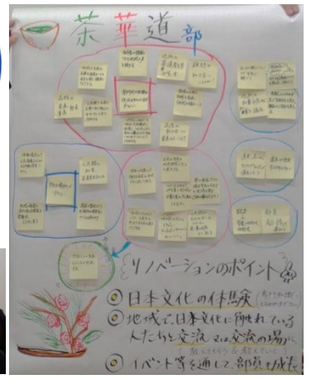
◀県総合教育センター
井上 昌幸部長

◀男性の家事育児サポート
「主夫ラボ」
髙木 駿代表

◀上都賀教育事務所
ふれあい学習課
大橋 礼子先生



参加してくだ
さった皆様のおかげで実り
ある研修会を実施できました。
ありがとうございました。
R5 年度もどうぞ
よろしくお願いいたします。



日光市立▶
今二小の
ありがとう
コーナー

こんなにたくさんの地域学校協働活動が行われました！

※紙面の都合上、すべての学校の取組をご紹介できず申し訳ありません。本紙をお読みいただいている皆様の近くの学校でも、日頃様々な地域との連携・協働活動が行われています（＾＾）

●放課後子ども教室

※（）は、メイン連携校

地域ボランティアがコーディネートする、様々な体験教室です！

クッキング

◀学びステーション鹿沼
（さつきが丘小）

ワクワクおもしろ教室▶
（東小）

フラダンス

茶道体験

◀スマイル・ルーム
（北犬飼中）

北光コミスク・ねっと▶
放課後子ども教室
（北小）

スポーツ鬼ごっこ

hohoemi クラブ▶
（菊沢東小）

クリスマス工作

池ノ森小放課後スクール▶
（池ノ森小）

習字教室

●学校支援ボランティア活動

今回は、西中学校で、「かぬま市民活動広場 ふらっと」がコーディネートした活動を紹介します！

◀自然環境体験学習舎による、
「エネルギーの伝達」について、太陽・植物・
草食動物・肉食動物になりきって実体験する学習

機動パトロール隊による、▶
身近にあるものを使用した担架作り、地盤沈下の
仕組みをペットボトルで再現する等の学習

このほか、かぬま観光ボランティア「鹿の会」による西中学校付近の史跡や見所の学習、点訳グループ「桐」による点字を使用した名刺作りを行ったそうです。
私たちの地域の子どもたちにも！と思った方、ぜひ
かぬま市民活動広場 **ふらっと** へお問い合わせください。
個別にご相談に応じてくださいますよ。→→→→→→→→→

かぬま市民活動広場　**ふらっと**
TEL：0289-60-2212　　FAX：0289-60-2213
鹿沼市下横町 1302-5　まちなか交流プラザ IF

お読みいただきありがとうございました！来年度もよろしくお願いします♪

鹿沼 Kanuma City